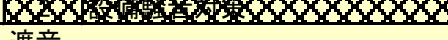
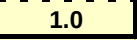
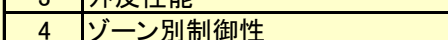
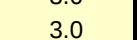
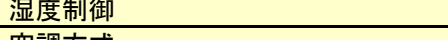
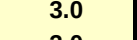
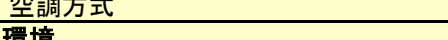
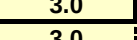
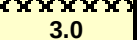
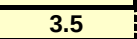
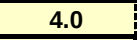
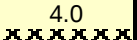
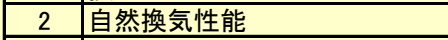
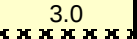
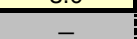
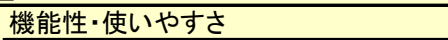
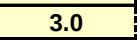
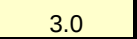
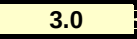


CASBEE-広島（2010年ver.1）
デオデオ第2本店

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質							2.8		
Q1 室内環境				0.40			3.0		
1 音環境			2.4	0.15		-	2.4		
1.1 騒音			3.0	0.70		-			
1	暗騒音レベル		3.0	1.00		-			
				-		-			
1.2 遮音				-		-			
1	開口部遮音性能			-		-			
2	界壁遮音性能			-		-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音			1.0	0.30		-			
2 温熱環境			3.0	0.35		-	3.0		
2.1 室温制御			3.0	0.50		-			
1	室温設定		3.0	0.50		-			
				-		-			
3	外皮性能		3.0	0.17		-			
4	ゾーン別制御性		3.0	0.33		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
2.2 湿度制御			3.0	0.20		-			
2.3 空調方式			3.0	0.30		-			
3 光・視環境			3.0	0.25		-	3.0		
3.1 屋光利用			3.0	0.50		-			
1	屋光率			-		-			
2	方位別開口			-		-			
3	屋光利用設備		3.0	1.00		-			
3.2 グレア対策				-		-			
				-		-			
2	屋光制御			-		-			
3.3 照度				-		-			
1	照度			-		-			
				-		-			
3.4 照明制御			3.0	0.50		-			
4 空気質環境			3.5	0.25		-	3.5		
4.1 発生源対策			4.0	0.50		-			
1	化学汚染物質	規制対象外又はF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用	4.0	1.00		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
4.2 換気			3.0	0.30		-			
1	換気量		3.0	0.50		-			
2	自然換気性能			-		-			
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50		-			
				-		-			
4.3 運用管理			3.0	0.20		-			
1	CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2	喫煙の制御		3.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.1		
1 機能性			3.0	0.40		-	3.0		
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-			
1	広さ・収納性			-		-			
2	高度情報通信設備対応			-		-			
3	バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30		-			
1	広さ感・景観	売場天井高さ3.6m以上	5.0	0.33		-			
2	リフレッシュスペース		1.0	0.33		-			
3	内装計画		3.0	0.33		-			
1.3 維持管理			3.0	0.30		-			
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性			2.9	0.31		-	2.9		
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-			
1	耐震性		3.0	0.80		-			
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数			2.9	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23		-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管は塩ビライニング鋼管、排水管は硬質塩ビ管を使用	4.0	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

	2.3 信頼性・更新性				-		-	
	2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.29		-	3.4
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
	1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.077	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			2.6	0.38		-	
	1	空調配管の更新性		2.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30		-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=36.3	5.0	0.30		-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水		節水コマと省水型機器使用	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67		-	-	
2		雑排水再利システム導入の有無	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		杭において高炉セメント使用	4.0	0.21		-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.21		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装材と設備部材との錯綜を避ける。	4.0	0.25		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	-	
1		消火剤	4.0	0.33		-	-	
2		断熱材	3.0	0.33		-	-	
3		冷媒	3.0	0.33		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率32%減	5.0	0.33		-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用なし	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25		-	-	
1		雨水排水負荷低減	-	-		-	-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33		-	-	
3		交通負荷抑制	4.0	0.33		-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.33		-	-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33		-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-		-	-	
1		騒音	-	-		-	-	
2		振動	-	-		-	-	
3		悪臭	-	-		-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.67		-	-	
1		風害の抑制	3.0	0.70		-	-	
2		日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.33		-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0	0.70		-	-	
2		屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-	